

インフルエンザ週報 2019年 第15週 (4月8日～4月14日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』を解除しました(4月18日)

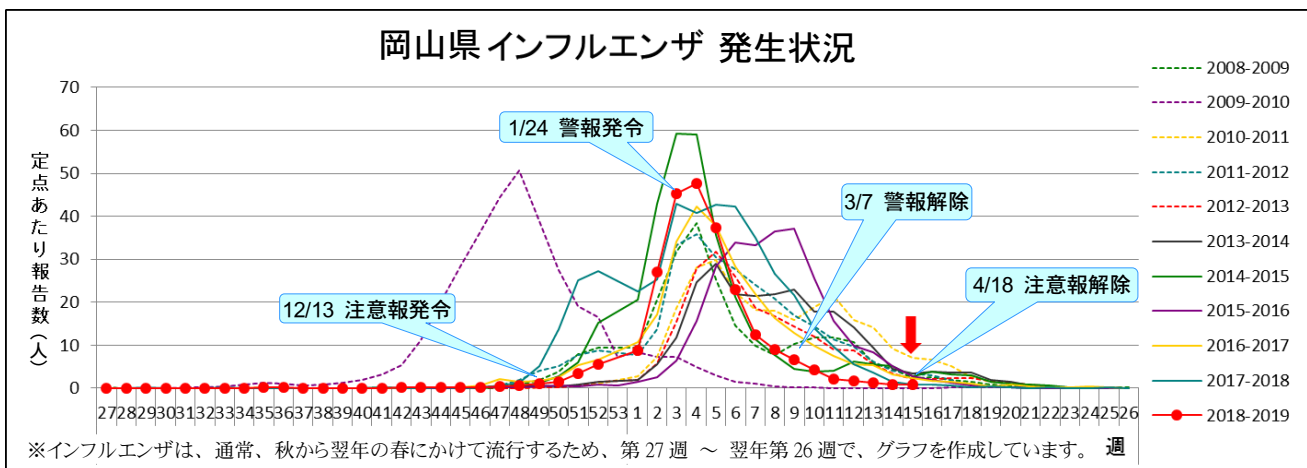
【お知らせ】 2018/19年シーズンのインフルエンザ週報は、今週(第15週)をもって終了いたします。
2019/20年シーズンは、2019年11月頃からの掲載を予定しています。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で74名(定点あたり0.88人)の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者2名の報告がありました。

【第16週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が3施設でありました(4月17日～18日)。



インフルエンザは、県全体で74名(定点あたり0.94 → 0.88人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。岡山県では、県全体の定点あたり報告数が2週連続して1人を下回ったため、2018年12月13日に発令された「インフルエンザ注意報」を、4月18日をもって解除しました。

注意報は解除になりましたが、第16週速報で、学校の臨時休業について3施設から報告がありましたので、ひきつづき手洗いなど感染予防を心がけましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	74	➡	備 中	患者数	6	➡
	定点あたり	0.88			定点あたり	0.50	
岡山市	患者数	18	➡	備 北	患者数	10	➡
	定点あたり	0.82			定点あたり	1.67	
倉敷市	患者数	18	➡	真 庭	患者数	0	➡
	定点あたり	1.13			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	15	➡	美 作	患者数	7	➡
	定点あたり	1.00			定点あたり	0.70	

【記号の説明】 前週からの推移
 ↑: 大幅な増加 ➡: 増加 ➡: ほぼ増減なし ↓: 大幅な減少 ↓: 減少
 大幅: 前週比100%以上の増減 増加・減少: 前週比10~100%未満の増減

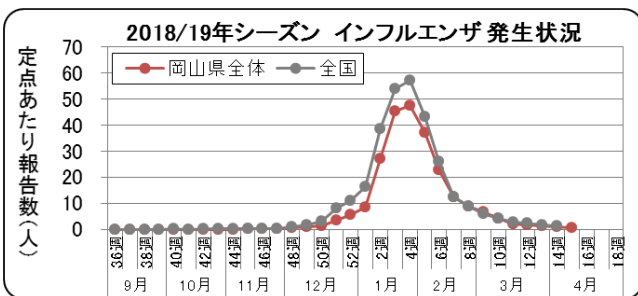
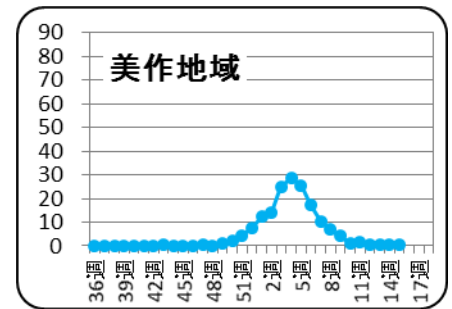
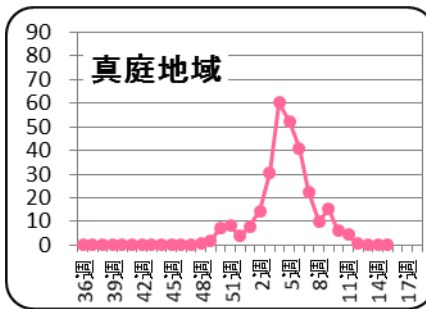
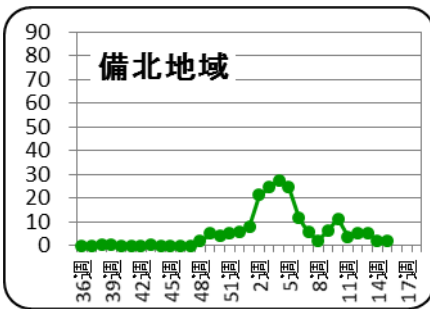
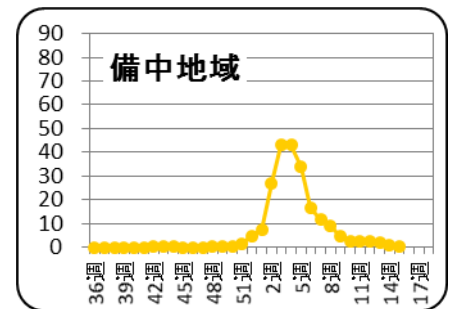
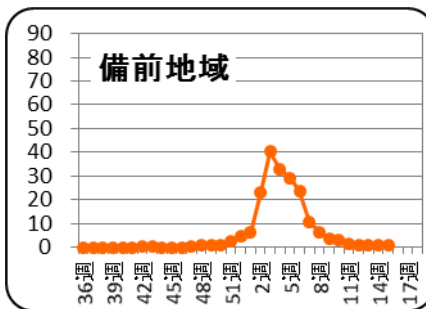
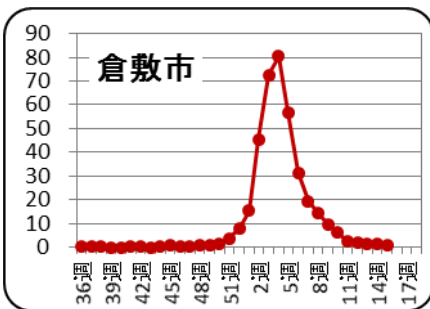
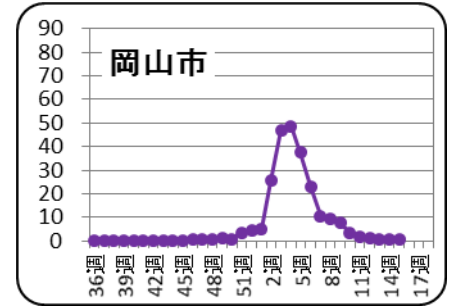
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0< 10未満	0

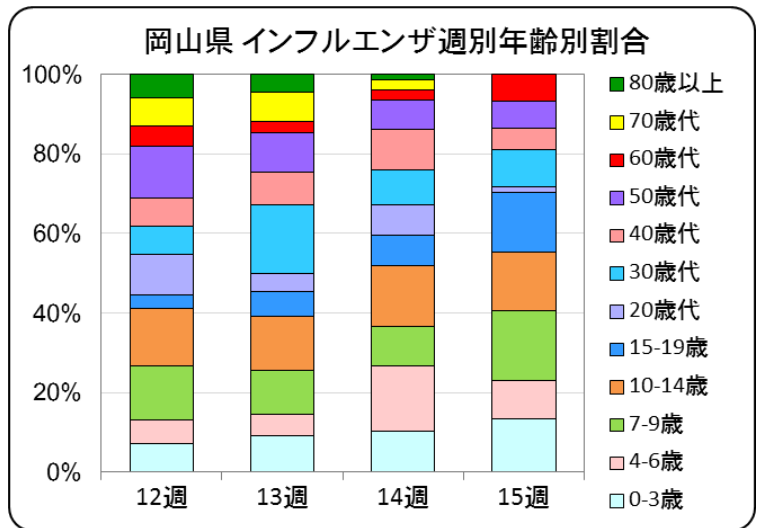
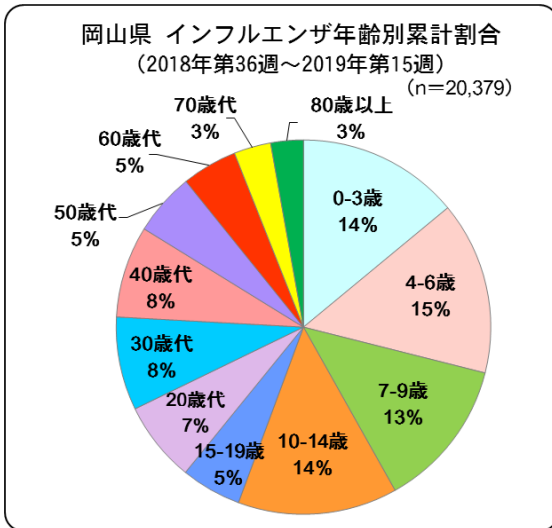


全国集計 2019 年第 14 週 (4/1~4/7) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 1.46 人となり、前週 (1.73 人) から減少しました。都道府県別では、秋田県 (8.00 人)、青森県 (5.02 人)、沖縄県 (3.52 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。14 都県で前週の報告数より増加し、33 道府県で前週の報告数より減少しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

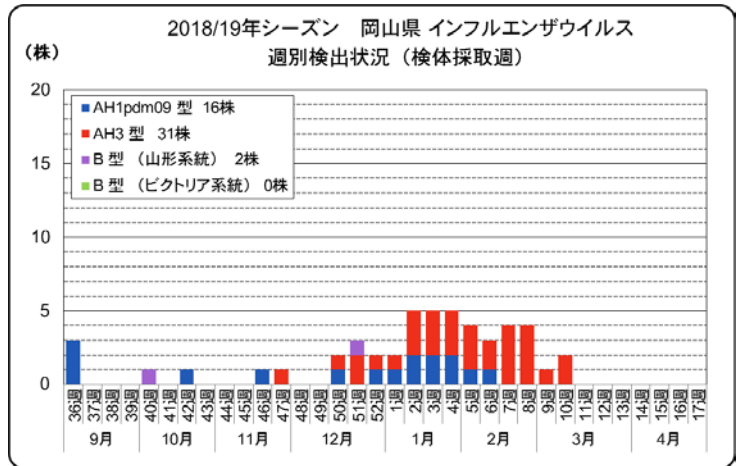
2. 年齢別発生状況

0歳から14歳までで約半数（56%）を占めていますが、広い年齢層で報告されています。



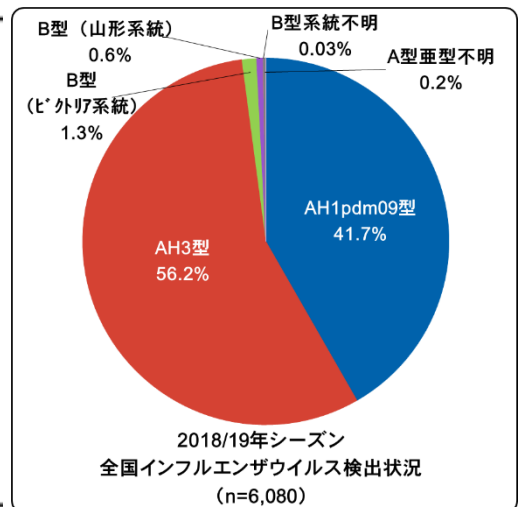
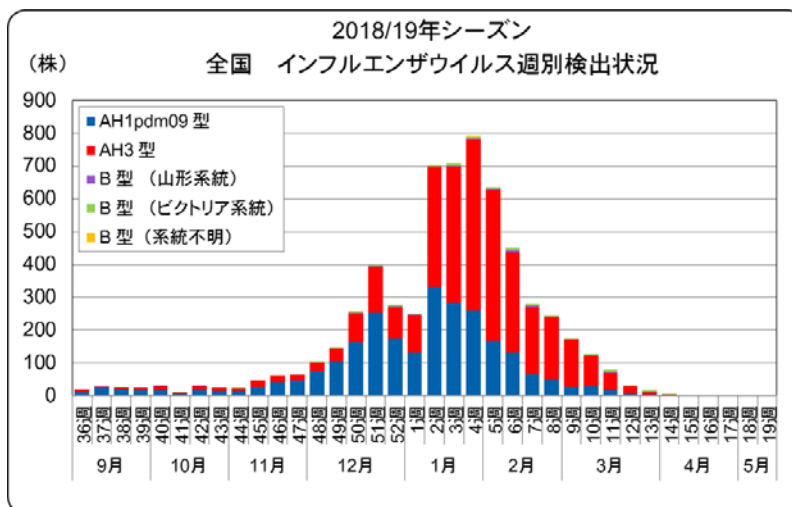
3. インフルエンザウイルス検出状況

2019年第15週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは49株で、その内訳は、AH1pdm09型16株、AH3型31株、B型（山形系統）2株となっています。



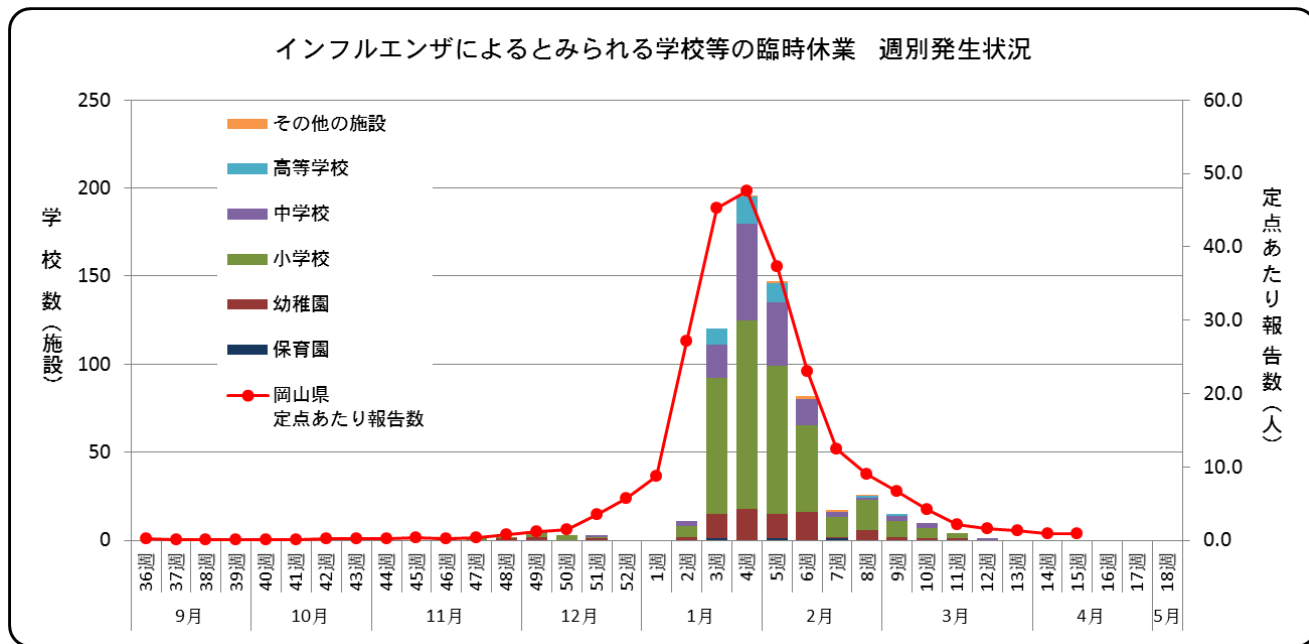
今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型が2,536株、AH3型が3,416株、B型が115株（山形系統34株・ビクトリア系統79株・系統不明2株）、A型亜型不明13株となっています（4月16日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	9232	0	7493	0	647	0	11	0	149	0	487	H30.9.26
岡山市	0	3959	0	3149	0	256	—	—	0	20	0	236	H30.9.26
倉敷市	0	2041	0	1758	0	141	0	1	0	22	0	118	H30.11.12
備前地域	0	767	0	657	0	62	0	1	0	25	0	36	H31.1.10
備中地域	0	1222	0	1034	0	105	0	2	0	38	0	65	H30.12.13
備北地域	0	140	0	96	0	13	0	1	0	9	0	3	H31.1.15
真庭地域	0	268	0	200	0	15	0	2	0	9	0	4	H31.1.17
美作地域	0	835	0	599	0	55	0	4	0	26	0	25	H30.12.6

2) 臨時休業施設数の内訳

第15週：0施設

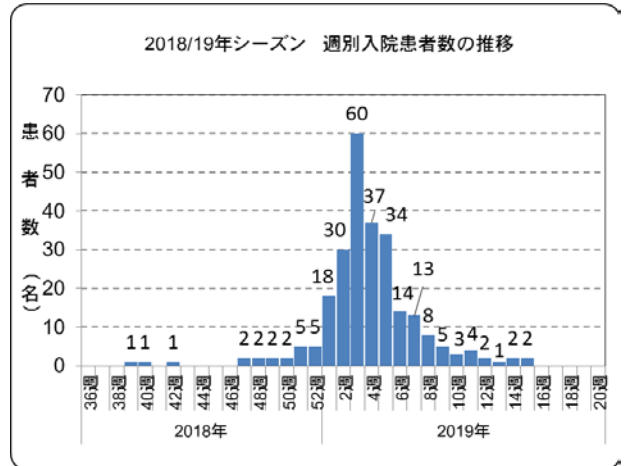
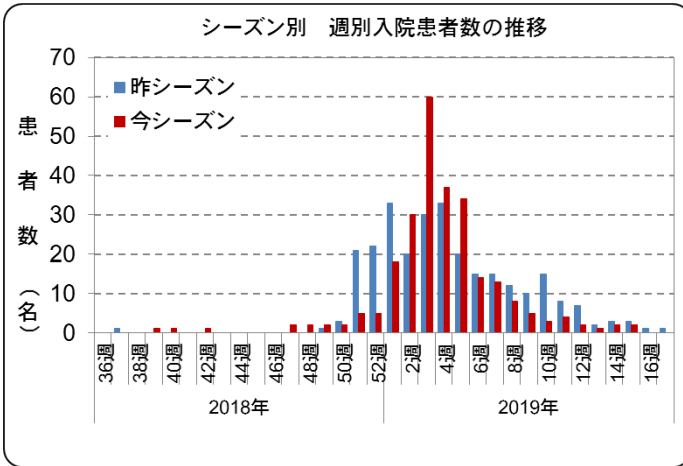
累計：647施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	3	0	80	0	379	0	142	0	37	0	6

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、2名（1歳未満1名、60-69歳1名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 15 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1									1			2
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*													
頭部MRI検査(予定含)*													
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず	1									1			2

* 重複あり

【2018年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
入院患者数	10	27	14	4	1	3	3	4	6	24	52	106	254
ICU入室*		1						1		1	3	2	8
人工呼吸器の利用*		2						1		1	1	8	13
頭部CT検査(予定含)*		4	1			1				4	5	8	23
頭部MRI検査(予定含)*		5	3	1	1			1			4	1	16
脳波検査(予定含)*			1										1
いずれにも該当せず	10	19	9	3		2	3	2	6	19	43	92	208

* 重複あり

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[平成 30 年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

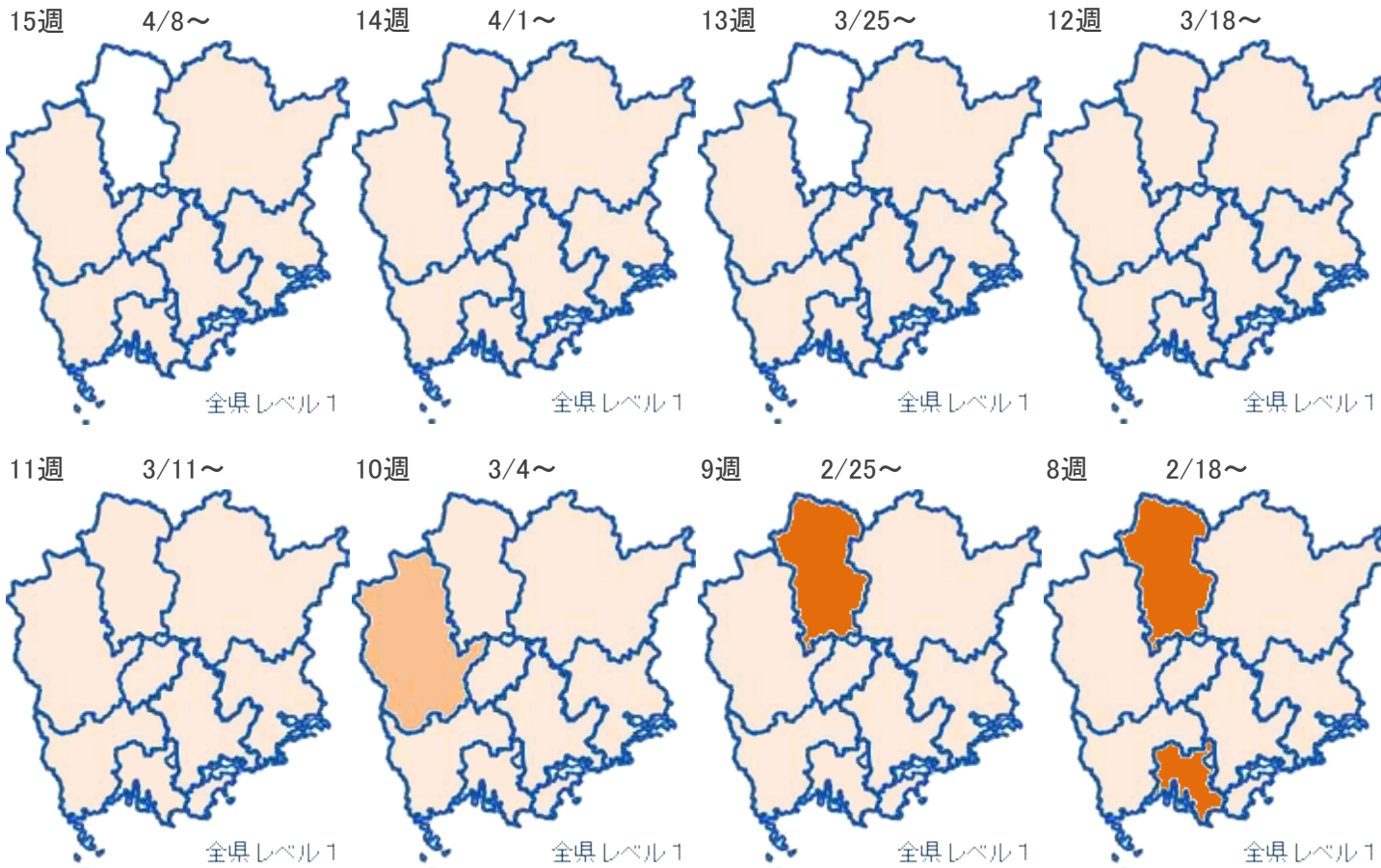
[インフルエンザ 関連情報 2018/2019 シーズン インフルエンザワクチン株 \(国立感染症研究所\)](#)



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2019年 15週

2019年4月16日

14:06:56



インフルエンザ

レベル3		レベル2		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値		基準値	
30	10	10 以上 30 未満		0 < 10 未満		0	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。